

絵本雑誌



さがるま-た
できるまでが



2023年11月、絵本雑誌「さがるま-た vol.1」が刊行されました。誌名「さがるま-た」は、エベレストのネパール語名で、直訳すると「海の頭」を意味するそう。作家の深い創作の海から、長い時間をかけて生まれる「頭」=作品の姿を山になぞらえ、それぞれの最高峰を一冊のなかに、山脈のようにつらねるように…。そんな思いで制作された、唯一無二のオムニバス絵本雑誌です。記念すべき創刊号は、荒井良二さんの表紙が目印！ 絵本を初めて読む人も、絵本が大好きな人も、どんな人でも乗り込み、新しい世界へ冒険できる、大きな船のような雑誌「さがるま-た」。作ったのはいったい、どんな人たちだろう？ 八戸ブックセンターのギャラリーで、少しでも紐解いてみることにしました。

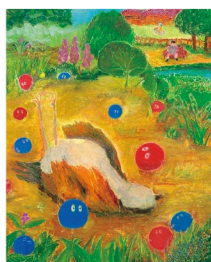
2024. 3.9 - 5.12 (土) (日)



表紙／荒井良二



「こんぼうバアアアン」／文：東 樫 絵：nakaban



「ワワ〜ムくん」／加藤休ミ



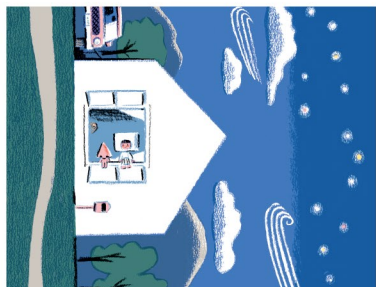
「きょうはやまに」／文：柴田聡子 絵：ハダタカヒト



「ランちゃんとおふしぎながかみ」／長澤 星



「たろうの日常茶飯」／いちろう



別冊付録「おはよう」／及川賢治



付録ポスター／スズキコジ

●展示について

原画・複製原画展示予定作家(五十音順)

- 東 樫 (棍棒作品の展示) / 荒井良二
 - 石黒亜矢子 / いちろう / 及川賢治
 - 加藤休ミ / スズキコジ / 長澤 星
 - nakaban / 中村 愛 / ハダタカヒト
 - 堀川理万子 / モルテザー・ザーヘディ
- ギャラリー内音楽
柴田聡子「きょうは山に」

●イベントについて

2024年4月27日(土) 16時30分～
トークイベント「さがるま-たができるまで」
ゲスト：漆原悠一(デザイナー) × 飯島未彩紀(さがるま-た編集長)
場所：八戸ブックセンター 読書会ルーム
定員：20名 / 参加無料 / 要予約

2024年4月28日(日) 10時30分～
「わ！へんしん！ ワワ〜ムくんは何になる?!」
ゲスト：加藤休ミ(クレヨン画家・絵本作家)
場所：八戸ポータルミュージアム はっち
はっちひろば
定員：20名 / 参加無料 / 要予約

2024年4月28日(日) 13時30分～
「いちろうさんの、たべる似顔絵」
ゲスト：いちろう(イラストレーター)
場所：八戸ブックセンター 読書会ルーム
定員：10名 / 参加費3000円 / 要予約

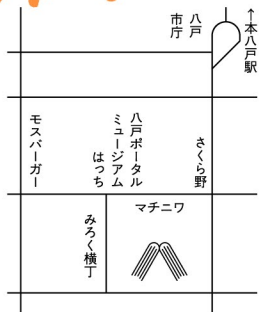


飯島未彩紀(いじま・みさき) 漆原悠一(うるしはら・ゆういち)
1994年長野県生まれ。2018年に講談社入社後、こども雑誌「おともだち」の編集を経て、現在は「げんき」「いないいないばあ!」の編集に携わる。そのほか絵本や付録つきムックなど、様々な単行本や絵本雑誌「さがるま-た」立ち上げ・編集を担当。
1979年大阪府生まれ。2002年京都精華大学デザイン学科卒業。2011年にデザイン事務所tento設立。書籍や雑誌のデザインを中心に展覧会等の広報印刷物や空間デザイン等にも携わっている。また、出版レベル活動も行っている。

加藤休ミ(かとう・やすみ) いちろう
1976年生まれ。北海道釧路市出身。独学によるクレヨンとクレパスを用いた作品を創る。2010年より絵本を軸に制作が始まる。食べ物のリアルでおいしそうな描写への探求、クレヨン画の熟練、身体から溢れる作品を描き続けている。
1993年大分県生まれ、京都府在住。イラストレーター。『群像』くどうれいん連載エッセイ「日目は分量」のイラストをはじめ、挿絵や装画、漫画など活躍の幅を広げる。

●アクセス

【バス】八戸駅東口から八戸市中心街行き約25分「十三日町」または「八戸中心街ターミナル(八日町)」下車すぐ
【鉄道】八戸駅からJR八戸線「本八戸」下車徒歩約10分 ※駐車場はございません。周辺の駐車場をご利用ください。
〒031-0033 青森県八戸市六日町16番地 2 Garden Terrace 1階 / TEL 0178-20-8368 / 開館時間：10:00～20:00(日・祝は10:00～19:00) 休館日：毎週火曜日(祝日の場合はその翌平日)
https://8book.jp X @hachibookcenter instagram @hachibookcenter



展示・イベントについてのお問い合わせは、八戸ブックセンターまで。
主催：八戸ブックセンター / 協力：講談社 / 告知物デザイン：漆原悠一(tento)